

## 取組の概要

### 対象畜種

牛、豚

### 協議会構成員

畜産農家（栃木県養豚事業協議会、栃木県肉牛肥育事業協議会傘下）栃木県開拓農業協同組合、平田牧場、北日本くみあい飼料、明治飼糧、生活クラブ事業連合生活協同組合連合会、栃木農政事務所第2課、栃木県那須農業振興事務所等

### 飼料用米生産面積

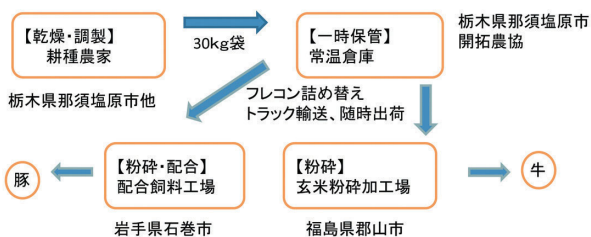
5.3ha

### 供試品種

|            |       |
|------------|-------|
| なすひかり      | 1.3ha |
| こしひかり      | 0.6ha |
| こしひかり（もち播） | 0.5ha |
| あさひの夢      | 2.9ha |

### 取組内容

#### ①飼料用米の流通、保管、調製に係る実証調査



- ◆収穫物は、耕種農家が乾燥・調製、開拓農協が集荷後、農協倉庫に貯蔵
- ◆肥育牛用に、必要に応じ粉砕業者に配送
- ◆肥育豚用は、平田牧場に配合を依頼

#### ②飼料用米の給与による家畜・畜産物への影響調査（畜産物の成分分析を含む）

試験設計：肥育豚 配合飼料に5%配合

120日齢から出荷まで給与  
肥育牛 出荷月例前3ヶ月間  
1頭当たり1kgを給与

調査項目：肥育豚 DG、FC  
肥育牛 肥育状況  
脂肪酸組成（自己負担）

#### ③飼料用米を利用した畜産物の普及活動

- ◆飼料用米解説のパンフレット作成
- ◆飼料用米給与豚の試食会（自己負担）

## 取組によってわかったこと

### 1. 調製・保管・流通について、次のことがわかりました。

- 石巻工場までの移送は、破袋等の事故もなく実施できました。
- 生産現場については、異品種混入防止のため、刈り取り・調製現場からの出荷の立会を行うことが重要だと思われる。
- 昨年度は早期に出庫出来たので特段問題が有りませんでした。今年度より通年保管 となることから、夏場の保管管理の徹底が必要だと思われます。例えば、低温倉庫の設置等。
- 低価格であることから、流通コストの低減が課題となっています。

### 2. 家畜・畜産物への影響について、次のことがわかりました。

#### 養豚

- 発育に差はありませんでした。しかし、枝肉分割・整形作業において、米給与豚の脂質が固めに感じられるとの声がありました。
- 飼料要求率は21年度に調査する予定ですが、現時点では、ほとんど差は感じられません。
- 豚枝肉格付けは、厚脂傾向が見受けられ格付けが悪くなって来ています。
- 食味試験を実施したところ、参加者からは、飼料用米給与豚がおいしいとの意見が出されました。
- 脂肪色がやや白くなりました（脂肪融点が低下した感じがするとの声があります）
- 脂肪のしまりが良くなりました。
- リノール酸がやや低下しました。

## 肉牛

- 配合飼料に粉碎した飼料米をふりかけて給餌。嗜好性は良い。
- 食味試験を実施したところ、参加者からは、飼料用米給与牛がおいしいとの意見が大半でした。

### 3. 普及活動について、次のことがわかりました。

- 組合員への反響が大きく、認識が広まりました。飼料用米を給与するという取組の意義（国産飼料であることや、水田の維持ができること等）から、食味（おいしいとの評価）に至る、全体の流れについても、非常に高い関心を得ています。
- 取組が生協内で着実に浸透しています。実際の豚肉供給が開始され、初回受注状況も予定どおりとなりました。
- 自己負担で対応した事項  
生活クラブ生協での飼料用米説明会の開催20回  
栃木県内での飼料用米・稲の視察受入回数8回

### 4. 今後の飼料用米の取組予定などについて

- 国は、自給率向上を目指していますが、今回飼料用米生産に対する助成は殆どが、米価価格の維持を目的としたものだと思います。自給率向上を目指すなら、現在の耕作放棄地等に飼料用米・稲等の作付を推進するべきと考えます。  
又、畜産農家とすれば今後も安定した飼料米・稲の確保が必要です。水稻農家が今後も飼料米・稲の生産を継続出来る取り組みやすい助成体制を確立するべきと思います。

栃木県開拓農協 秋元 一郎

## 参考データ・写真等

飼料用米の田植え風景



展示ほ場での生育状況

